

柏市新中央図書館整備立地検討会

検討結果

平成19年8月1日

柏 市 教 育 委 員 会

1 「新中央図書館」整備基本構想を踏まえて	3
2 立地候補地	4
3 立地選定の基本方針	5
4 立地候補地の比較検討－1 市民の視点から見た評価（絶対的評価）	6
立地候補地の比較検討－2 行政の視点から見た評価（絶対的評価）	7
立地候補地の比較検討－3 市民の視点から見た評価（相対的評価）	8
立地候補地の比較検討－4 行政の視点から見た評価（相対的評価）	9
5 検討結果	10
参考資料 トラベル・コストルート例	11
参考資料 トラベル・コストの詳細内訳①②	12・13
参考資料 財政負担に関する詳細内訳	14

■そもそも図書館に求められていたもの（図書館法）

- 図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存すること
- 一般公衆の利用に供すること
- 教養、調査研究、レクリエーション等に資すること

■これからの柏市の図書館に求められるもの

- 「図書」という資料にとどまらない多種多様な「情報」にふれやすく活用しやすい環境をつくり出すこと
- 市民一人ひとりが自己を高め、自立的な判断を行い得るよう様々な情報で支えること
- 様々な交流によるまちの活性化と柏市らしい地域づくりを実現するための情報拠点となること

■新中央図書館がめざすもの

図書館サービスの原点を踏まえるとともに現代的な課題にも対応し得る情報拠点の核をめざす

「市民」をつなぐ

1

- ・あらゆる人に生涯を通じた学習機会を提供していくために
- ・いわゆる「団塊の世代」をはじめとする中高年層の方々の新たな活動へ向けた情報収集の場としていくために
- ・通学や通勤、買い物、研究など様々な目的で柏市を訪れる人々にも、柏市の情報をはじめとする様々な情報を提供していくために



情報が人を呼ぶ

「資源」をつなぐ

2

- ・柏市の豊かな歴史、文化等に係る情報を収集、整理、保存、提供し、次世代の文化を創造していくために
- ・大学図書館やさわやかちば県民プラザ、かしわインフォメーションセンター、柏市民活動センターなど特色ある機関や施設と連携協力し、幅広い情報を効率的に提供していくために



情報が情報を呼ぶ

「分館」をつなぐ

3

- ・身近で、気軽に利用でき、課題解決が図れる地域ニーズに沿った分館としていくために
- ・分館を、さまざまな形で行われている市民や企業等の自主的・自立的な公益活動を情報面で支援する地域拠点としていくために



情報が活動を支える

※イメージ図です

	候補地	地番	地積 (㎡)
A	柏北部中央地区	若柴字大割227番6他	15,667.00
B	北柏駅北口区画整理事業	根戸字上屋敷1590番5他	4,100.99 (区画整理後の図書館立地候補地部分)
C	現柏市立図書館本館跡地	柏5丁目206番10	2,234.07
D	柏市立柏中学校内	明原4丁目41番1	40,469.00 (うち、 図書館立地候補地部分は7,189.8)
E	柏駅東口D街区第一地区市街地再開発事業	中央町817番10他	6,956.00 (D, E 街区敷地面積)

図書館法に基づいた立地選定の基準

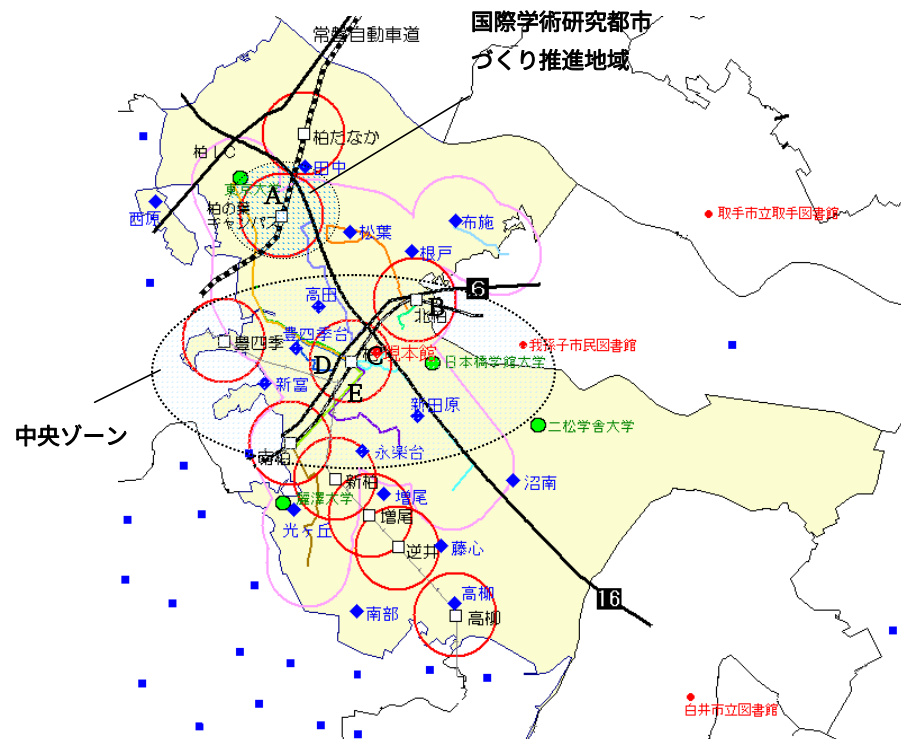
図書館法第18条の規定に基づき定められた公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準において、公立図書館の設置に当たっては、サービス対象地域の以下の項目を勘案し検討をすることが努力義務として課せられている。

- ①人口分布と人口構成
- ②面積
- ③地形
- ④交通網等



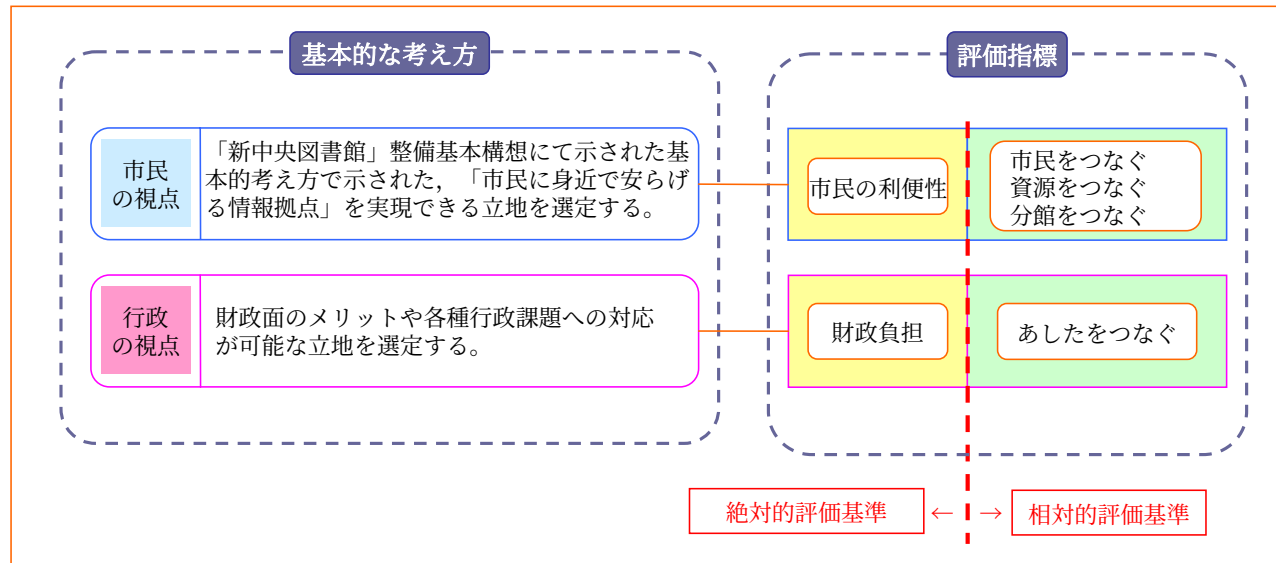
新中央図書館の立地選定に係る指標

①人口	図書館は基本的には市民に来館してもらい、サービスを提供する施設であるため、多くの利用者が見込める立地が望ましい。
②敷地	利用者のニーズに応えるためには、一定規模の敷地で設計の自由度が高い敷地を確保できることが望ましい。
③交通アクセス	高齢者等を含めたより多くの人に利用してもらうためには、交通至便な地域に立地することが望ましい。
④周辺環境	やすらぎの場として緑が多くくつろげる場所が望ましい。また、日常的に利用しやすい場所への立地が望ましい。
⑤都市計画等の位置付け	柏市第四次総合計画上のまちづくり方針に即していることが望ましい。
⑥用地の取得難易度	土地の取得が容易で、他事業との関連でスケジュールに余裕があることが望ましい。
⑦財政負担	用地費、建築工事費や補助金の可能性など、事業費負担が少ない方が望ましい。
⑧連携	図書館ネットワークの中心を担うことから、他施設と連携しやすい立地が望ましい。



■基本構想を踏まえた立地選定にあたっての視点

- ・ 柏市が主体となって市民に提供する行政サービスを総合的に評価する。⇒ 「市民の視点」
- ・ 柏市の政策と財政負担を踏まえた総合的な評価をする。⇒ 「行政の視点」



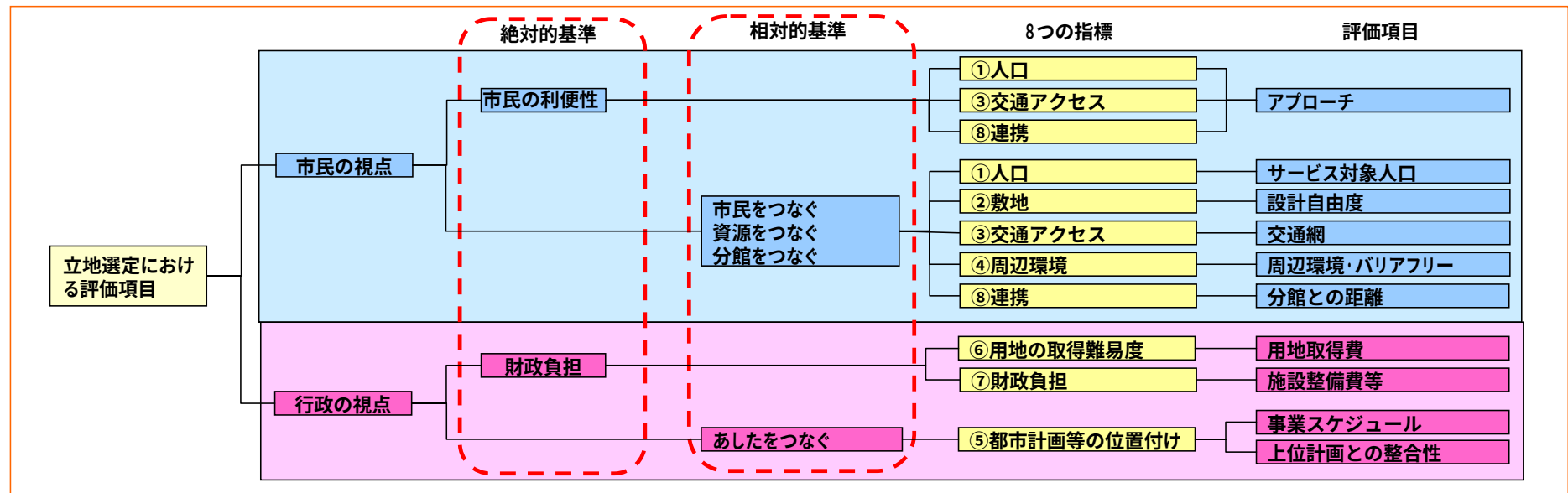
「絶対的な評価基準」と「相対的な評価基準」で選定

【絶対的基準】

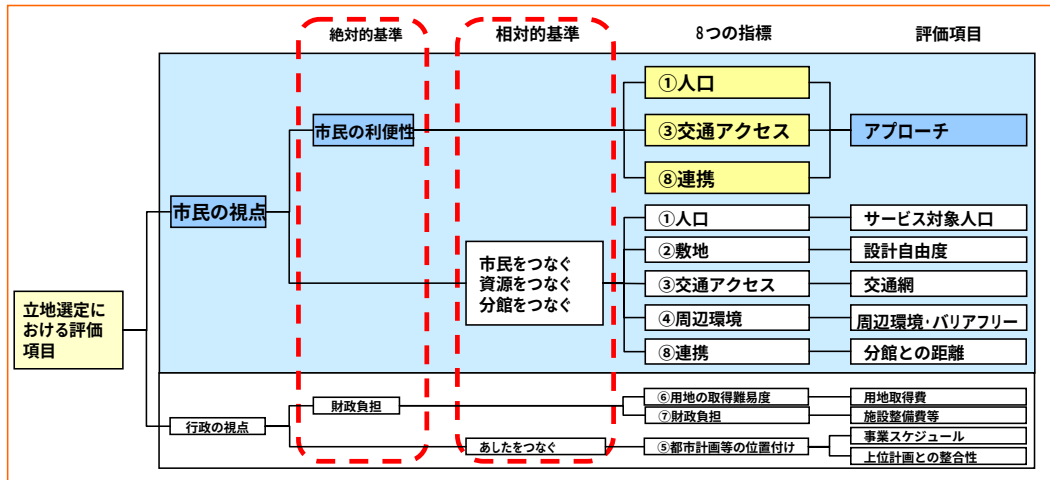
定量的に確定的（推計値は含まない）な数値を適正值として絶対的に評価する。

【相対的基準】

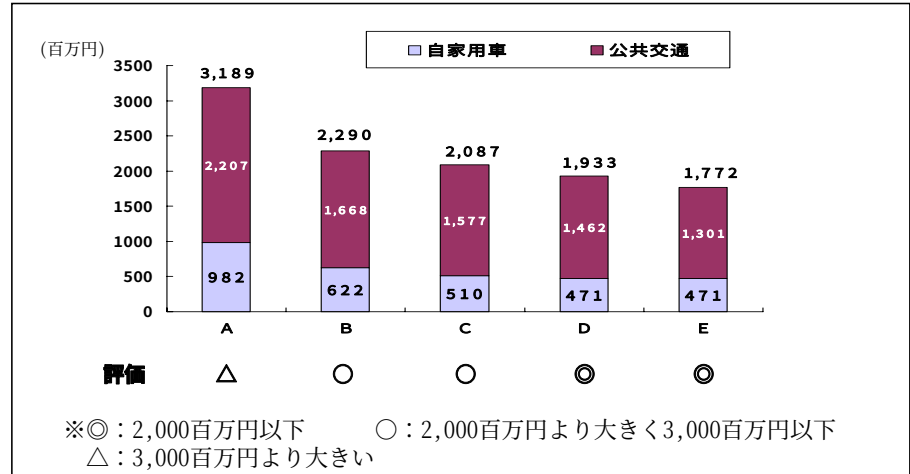
定量的或いは定性的な状況を、相互に比較し相対的に評価する。



■立地選定にあたっての基本方針に基づく評価項目と8つの指標の関係図



■評価結果



■評価の観点

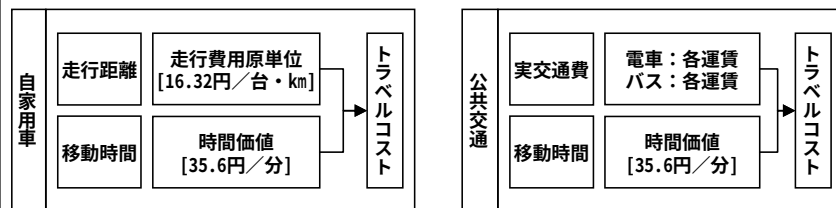
市民の利便性について着目

- ・市民の利便性－アプローチ（利用者の交通費，利用者の機会費用）

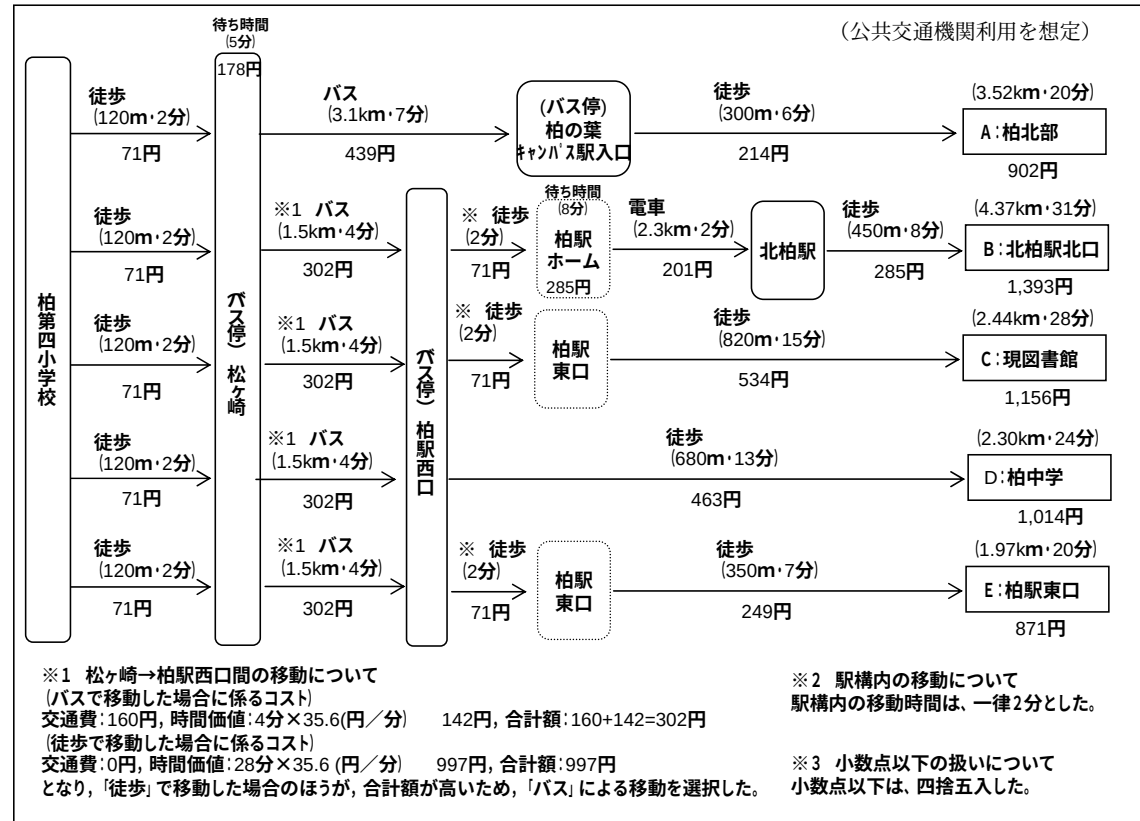
対象施設を利用する人々が支出する交通費などの費用と，移動のために費やす時間を費用に換算し，それらを合算し旅行費用を求める（トラベル・コスト法）ことによって，利用者の移動に要する費用を評価する。

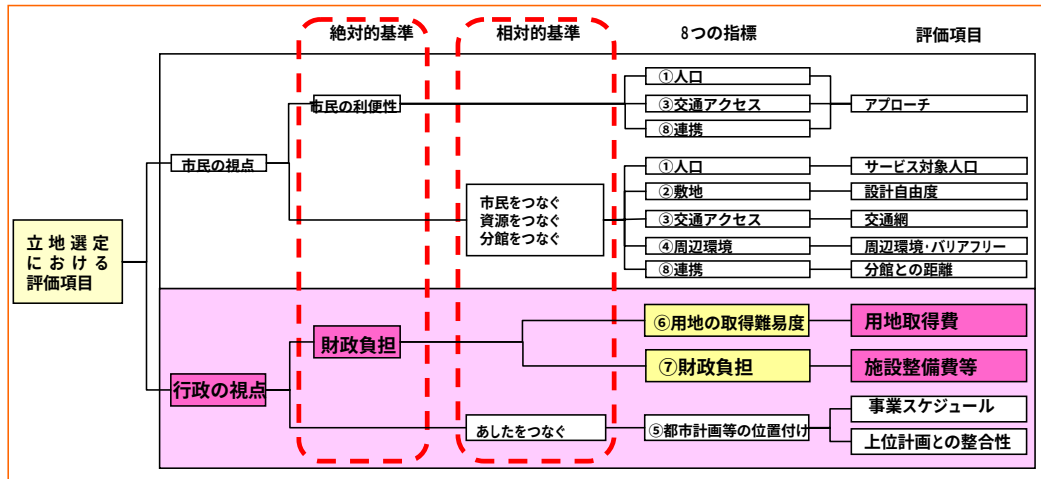
■算出方法の概要

- ・人々が支出する交通費などの費用に関しては，自家用車の場合は「走行距離×走行費用原単価」，公共交通の場合は「各運賃」にて算出する。
- ・利用のために費やす時間に関しては，「移動時間×時間価値」にて算出している。時間価値は，国民所得を労働時間で除した値である。
- ・今回の算定にあたり，図書館への来館者数を「年間100万人（市民1人あたり2.6回）」と想定して算出を行った。
- ・人口集積単位としては，「小学校校区」を採用した。
- ・徒歩：時速3.2km，自家用車：時速25kmで換算した。



■（例）トラベルコストの算出方法（柏第四小学校の場合）





■評価の観点

市の財政負担について着目

- ・用地取得費：土地又は床の取得費用
- ・建設費：建築工事及び内装工事費、駐車場建築工事費
- ・設備費：家具調度費、初期図書購入費、システム整備費
- ・その他：候補地ごとにかかる特別費用（例：Dであれば体育館移設工事費）

柏市の現在の財政状況を踏まえると、図書館建設にあたっては、市の財政負担が少ない立地が好ましいと言える。これより、図書館建設に係る「用地取得費」及び「施設整備費等」の合計値によって評価する。

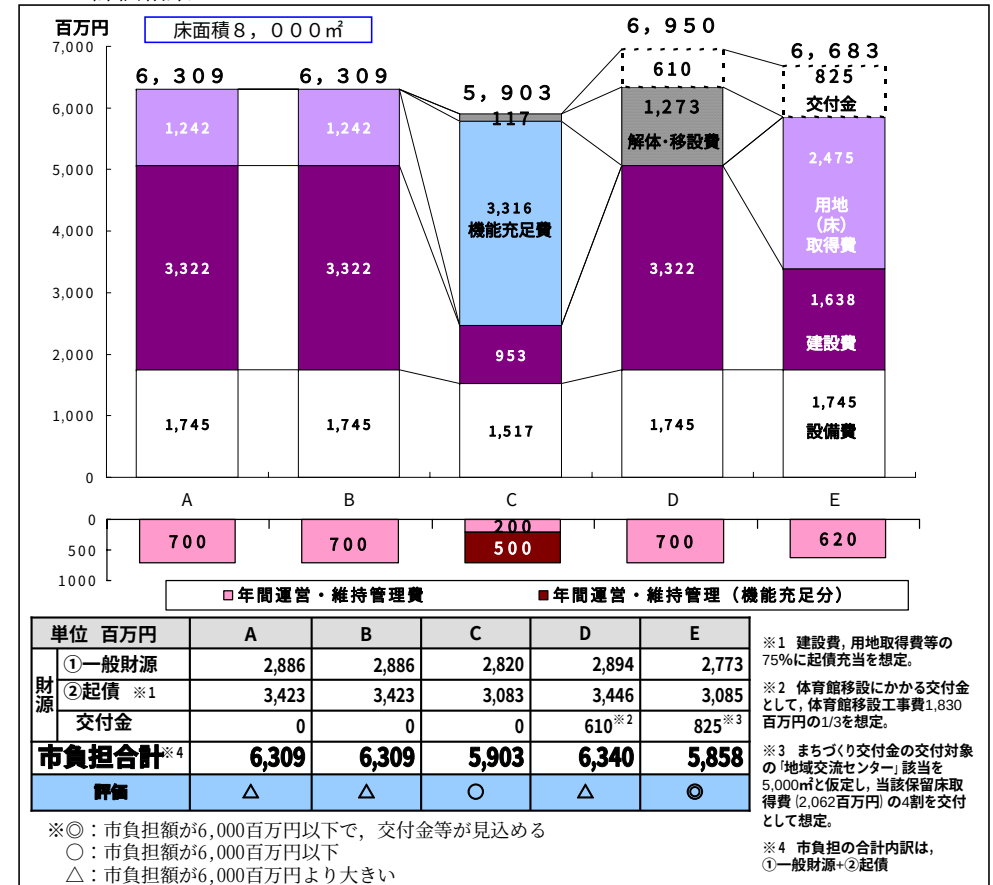
■総事業費の詳細内訳（基本構想における床面積の最大値をもとに算出しています）

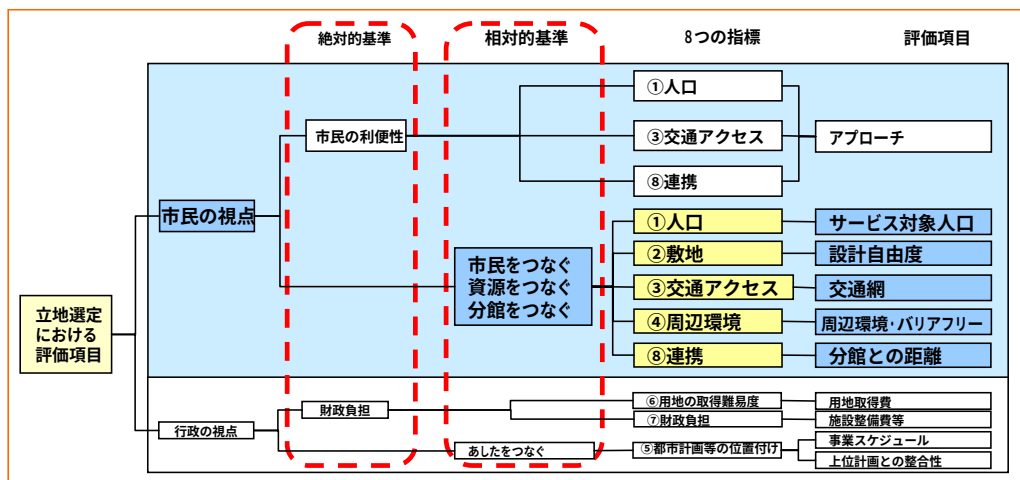
候補地A：柏北部中央地区 6,309百万円	候補地B：北柏駅北口区画整理事業 6,309百万円	候補地C：現柏市立図書館本館跡地 5,903百万円 (機能充足費を含む)	候補地D：柏市立柏中学校内 6,950百万円 (自用体価格:1,697百万円は除く)	候補地E：柏駅東口D街区第一地区 6,683百万円
用地取得費 :1,242百万円 [97,108円/㎡×(12,600㎡×1.015)] 従前地 建築工事費 :3,312百万円 [8,000㎡×414千円/㎡] 駐車場建築工事費 :10百万円 [50台×200千円/台] 家具調度費 :240百万円 [8,000㎡×30千円/㎡] 初期図書購入費 :1,425百万円 [570,000冊×2.5千円/冊] システム整備費 :80百万円 [8,000㎡×10千円/㎡]	用地取得費 :1,242百万円 [163,462円/㎡×7,481.71㎡×1.015] 従前地 建築工事費 :3,312百万円 [8,000㎡×414千円/㎡] 駐車場建築工事費 :10百万円 [50台×200千円/台] 家具調度費 :240百万円 [8,000㎡×30千円/㎡] 初期図書購入費 :1,425百万円 [570,000冊×2.5千円/冊] システム整備費 :80百万円 [8,000㎡×10千円/㎡]	建築工事費 :953百万円 [2,300㎡×414千円/㎡] 家具調度費 :69百万円 [2,300㎡×30千円/㎡] 初期図書購入費 :1,425百万円 [570,000冊×2.5千円/冊] システム整備費 :23百万円 [2,300㎡×10千円/㎡] 解体・移転費 :117百万円 [解体撤去費:69百万円 =2,300㎡×30千円/㎡] [図書等移転作業費:48百万円 =28.5万冊を移転・保管(3年間)] 機能充足費 :3,316百万円 [(8,000-2,300)㎡×(414+30+10)千円 増床面積 +133,333円/㎡×4,366㎡×1.25] 増用地面積	建築工事費 :3,312百万円 [8,000㎡×414千円/㎡] 駐車場建築工事費 :10百万円 [50台×200千円/台] 家具調度費 :240百万円 [8,000㎡×30千円/㎡] 初期図書購入費 :1,425百万円 [570,000冊×2.5千円/冊] システム整備費 :80百万円 [8,000㎡×10千円/㎡] 解体・移転費 :1,883百万円 [解体撤去費:53百万円 =1,043㎡×30千円/㎡+325㎡×30千円/㎡ +5,822㎡×2千円/㎡] [体育館移設工事費:1,830百万円] ※「柏中学校整備基本計画」より	保留床取得費 :3,300百万円 内装工事費 :1,200百万円 [8,000㎡×150千円/㎡] 駐車場費 :438百万円 (E街区保留床取得費) [50台×8,750千円/台] 家具調度費 :240百万円 [8,000㎡×30千円/㎡] 初期図書購入費 :1,425百万円 [570,000冊×2.5千円/冊] システム整備費 :80百万円 [8,000㎡×10千円/㎡]

★参考データはp14★

A:柏北部 B:北柏駅北口 C:現図書館 D:柏中学 E:柏駅東口

■評価結果





■評価の観点

新中央図書館のコンセプトに着目

新中央図書館整備基本構想の基本的考え方で示された「市民に身近で安らげる情報拠点」として新中央図書館を実現するため、以下を評価の観点とする。

【人口】候補地の周辺により多くの人口が集中していること。

【床】市民がゆったりと過ごすために十分な床面積を確保しながら、館内の案内のわかりやすさを高めるため、できるだけ少ない階層で図書館内部の空間を十分に確保できること。

【交通アクセス】最寄りの鉄道駅及びバス停からの距離がより短いこと。

【周辺環境】市民が散歩などを楽しむために図書館の周囲に緑地等（自然、公園）が近接していること。

【連携】地域サービスの最前線基地となる分館での市民サービスを恒常的に維持するため、新中央図書館が図書資料流通のハブとなって、地域ニーズにそった資料を分館に適切かつ早急に分配・配送するための時間はできるだけ短時間とすることが望ましいことから、分館と新中央図書館との距離の総和が短いこと。

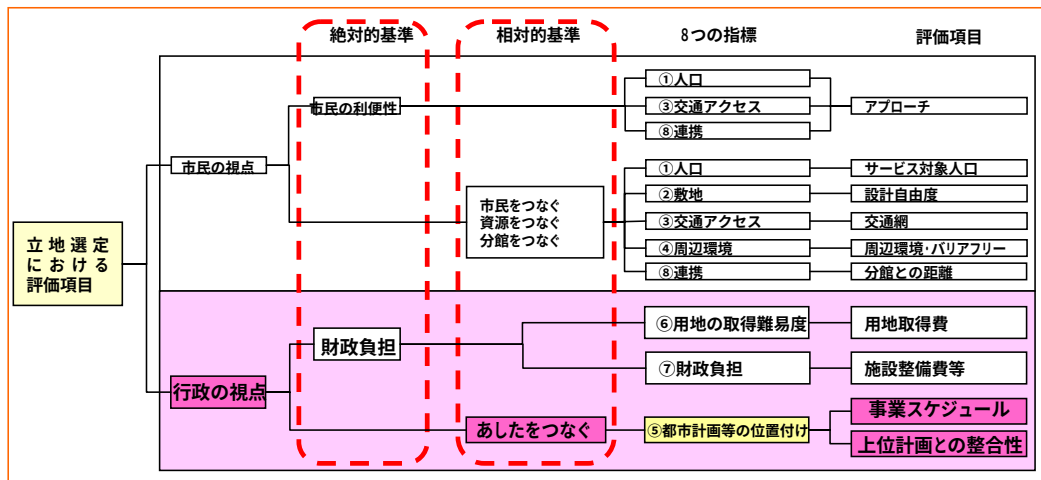
【バリアフリー】鉄道駅からの歩行空間が人にやさしいつくりであること。

これより、新中央図書館のコンセプトに着目し、総合的に評価する。

■評価結果

評価項目		A	B	C	D	E
人口	サビテ対象人口	58,327人	130,704人	182,725人	190,932人	226,409人
	周辺地域の計画人口の増加	一体型特定土地 地区画整理事業 内で26,000人 増加予定	柏都市計画事業 北柏駅北口土地 地区画整理事業 内で1,350人増加 予定	無	無	無
	評価	△	△	○	○	◎
	◎：20万人より多い △：15万人以下 ○：20万人以下15万人より多い					
床	設計自由度	2フロア	3フロア	面積の確保 は困難	2フロア	2フロア
	評価	◎	○	△	◎	◎
◎：8,000㎡が2フロアに確保できる △：8,000㎡が確保できない ○：8,000㎡が3フロアに確保できる						
交通 アクセ ス	駅	約500m 柏の葉キャンパス駅	約450m 北柏駅	約820m 柏駅	約680m 柏駅	約350m 柏駅
	バス停	約300m 柏の葉 キャンパス駅入口	約450m 北柏駅前	約300m 柏法務局入口	0m 中学校前	約350m 柏駅入口
	評価	○	△	○	○	◎
	◎：鉄道駅・バス停からともに400m以下（徒歩5分以内）で到達 ○：鉄道駅・バス停のいずれからか400m以下（徒歩5分以内）で到達 △：鉄道駅・バス停からともに400m以上（徒歩5分以上）で到達 ※トラベルコストにて用いた距離と同値					
周辺 環境	自然(隣接)	調整池	無	諏訪神社 の森	柏中学校 校庭	無
	都市公園(接)	無	無	有	有	無
	評価	○	△	◎	◎	△
◎：自然及び都市公園の双方が隣接している ○：自然及び都市公園のいずれかが隣接している △：自然及び都市公園のいずれも隣接していない						
連携	分館との 総和距離	112 km	97 km	76 km	81 km	77 km
	評価	△	○	◎	◎	◎
◎：距離が87.5km以下（往復時間7時間以下） △：距離が100kmより長い（往復時間8時間以上） ○：距離が100km以下87.5kmより長い（往復時間8時間以下） （※自動車時速25km想定）						
バリア フリー	段差[m]	0.0	26.7	0.0	15.3	0.0
	非全天[m]	314.4	327.6	774.0	437.0	113.4
	評価	◎	○	△	△	◎
	◎：段差が0mかつ非全天400m以下 ○：段差が0mかつ非全天400m以上又は段差があり非全天400m以下 △：段差があり非全天400m以上					
総合評価		○	△	○	○	◎

◎：◎が4つ以上，○：◎が2～3つ，△：◎が0～1つ



■評価の観点

事業の熟度に着目（21年度着手）

上位計画との整合性と実現される図書館像に着目

候補地それぞれの事業熟度の条件により、新中央図書館の整備時期が異なる。できるだけスムーズに新中央図書館の事業が進められ、市民へ充実したサービスが提供することができる候補地が好ましい。

柏市全体でのバランスのとれたまちづくりの推進に対して、候補地によって新中央図書館整備がまちづくりに与える影響は異なると考えられることから、上位計画との整合性を評価の観点とする。また、中央図書館が備えるべき基本的な機能を実現させるために基本構想を踏まえながら、さらなる付加価値として実現される図書館像が候補地の特性によって異なることが考えられるため、その具体像を想定したうえで評価を行う。

これより、事業熟度、上位計画との整合性からみたまちづくりへの寄与・実現される図書館像について、総合的に評価する。

■評価結果

【事業スケジュール（案）】

	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	評価
A	立地利用検討	用地取得	基本設計	実施設計	工事着手	工事	竣工		△
B	事業調整	用地取得	基本設計	実施設計	工事着手	工事	竣工		△
C	基本設計	実施設計	機能移転	解体	工事着手	工事	竣工		△
D	体育館整備計画	体育館設計	体育館工事	体育館竣工	体育館解体・実施設計	工事着手	工事	竣工	△
E	事業計画認可 内装基本設計	内装実施設計 工事着手	工事	竣工					◎

各候補地において新中央図書館を竣工するまでの最も短い期間での事業スケジュールについて想定し、記載した。

なお、各候補地の懸案事項については、基本構想書のとおり。

※できるだけ早く市民ニーズに応えるという観点で21年度着手について評価する

◎：工事に着手でき、早期に実現が可能

△：それ以外

【上位計画との整合性】

評価項目	A	B	C	D	E
第4次総合計画での位置づけ	北部ゾーンに位置し、柏の葉エリアを中心とした「環境・健康・交流・創造」の国際学術研究都市・学術・産業拠点や多様な都市機能が集積する国際的な拠点都市	中央及び北部ゾーンにまたがり、地域の生活拠点として生活支援機能を導入し定住促進を図る地域	中央ゾーンに位置し「ときめき・ふれあい・やすらぎのまち ライブタウン」を将来像と定め、中心市街地としての活力を維持・増進し、地域内外に開かれた都心とし、柏らしさを育て、発信し、実感できるまちをつくる地域		
基本構想との整合性	「人と情報をつなぐ・人と人をつなぐ」情報拠点の核となり、新たな情報文化の発展に寄与し、「柏市の「きのう」「きょう」「あした」と市民をつなぐ」ために、安全性・利便性・自在性に配慮した施設計画が立案できる。	駅前整備及び周辺の宅地開発によるまちづくりを推進する立地	市役所が隣接する行政機関の集約する立地	中学校施設と併せて生涯学習拠点となる立地	柏駅までの商業ゾーンの活性化を推進する立地
実現される図書館像（案）	国際キャンパスタウン構想のもとで、結果する高度教育機関とのスパイラル・アップが期待できる	地域の生活拠点として整備される駅前に、公共サービスを提供する地域拠点のひとつとなる	周辺の行政機関の集積を活かし、行政情報を集中的に収集できる	学校施設との併設により、多様な年齢層の市民が一同に介し、交流できる可能性がある	駅前立地による利便性が高く、多くの市民が集中利用することによる活発な文化活動を促進し、中心市街地の活力を増進する
評価	◎	○	○	○	◎

※◎：上位計画と整合があり、かつ、文化に係る位置づけが高い

○：上位計画との整合がある

【相対的評価の総合評価】

総合評価	○	△	△	△	◎
------	---	---	---	---	---

絶対的評価基準の検討結果

■市民の視点

図書館へのアプローチについて、トラベルコスト法を用いて分析した結果、年間100万人が図書館へ来館（市民1人あたり2.6回）した場合に係るコストはEが最も少ないことから、Eが最も優れた立地であるといえる。

■行政の視点

現在地での建替えとなるCについて、機能を充足する部分など施設計画の点からの見直しが必要となる。

Cを除いた4つの候補地で比較した場合、まちづくり交付金の期待があり、Eが最も財政負担が少ない立地となる。

絶対的評価基準の評価結果

	A	B	C	D	E
市民の視点	△	○	○	◎	◎
行政の視点	△	△	○	△	◎
総合評価	△	△	○	○	◎

相対的評価基準の検討結果

■市民の視点

市民の視点から重要となる指標について、交通アクセスやバリアフリーなど、様々な観点から分析すると、Eは周辺環境を除いた全ての項目について、最も優れた評価となる。

■行政の視点

事業スケジュールの観点では、Eが最も早く工事に着手する。上位計画との整合性は、どの候補地に建設したとしても、対象地域のまちづくりに寄与すると考えられるが、中でもA、Eは文化に係る位置づけが明確である。よって、Eが望ましい立地といえる。

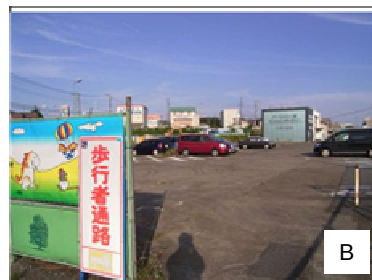
相対的評価基準の評価結果

	A	B	C	D	E
市民の視点	○	△	○	○	◎
行政の視点	○	△	△	△	◎
総合評価	○	△	△	△	◎

「市民の視点」及び「行政の視点」をそれぞれ、「絶対的評価基準」及び「相対的評価基準」で評価した結果、「E」が最も望ましい立地と考える。



柏北部中央地区



北柏駅北口



現市立図書館



柏中学校内



柏駅東口D街区

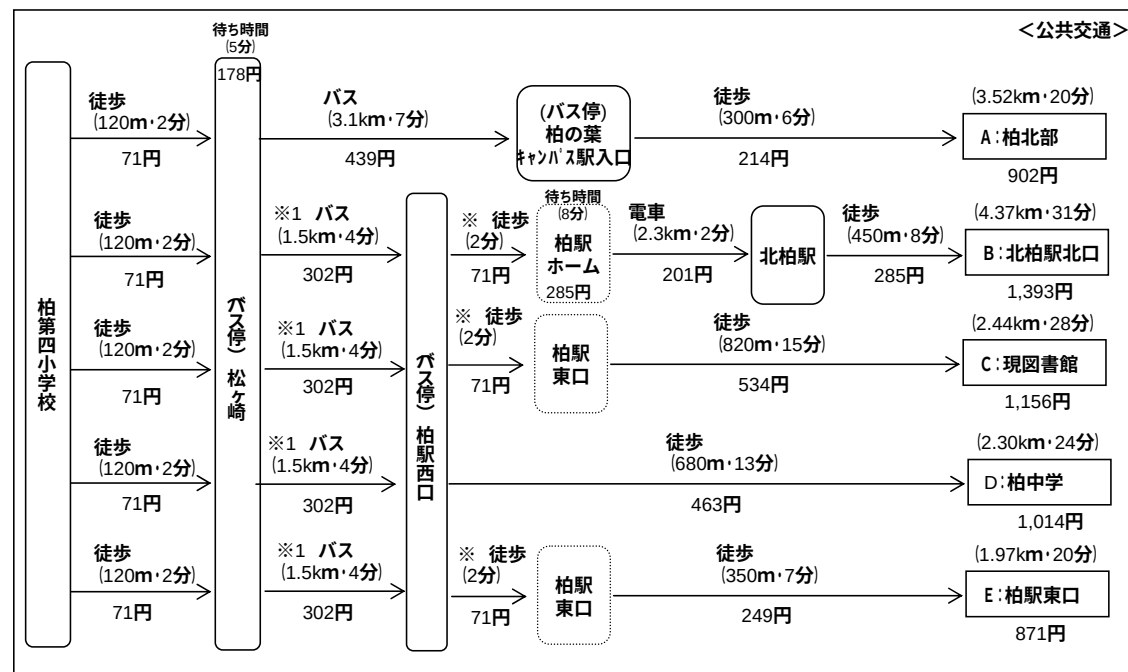
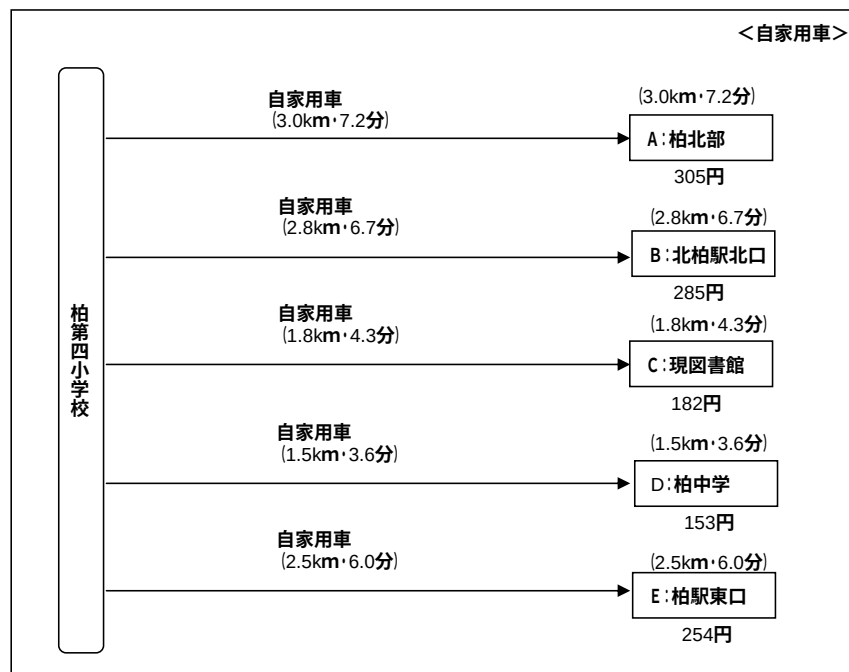


柏第四小学校	A	km	徒歩 0.12	松ヶ崎	待ち時間	バス 3.1	柏の葉入口	徒歩 0.30			到着		3.52	
		min	2		5	7		6				20		
		¥	71		178	190+249		214				902		
	B	km	徒歩 0.12	松ヶ崎	待ち時間	バス 1.5	柏駅西口	駅内移動	待ち時間	電車 2.30	北柏駅	徒歩 0.45	到着	4.37
		min	2		5	4		2	8	2		8		31
		¥	71		178	160+142		71	285	130+71		285		1,393
	C	km	徒歩 0.12	松ヶ崎	待ち時間	バス 1.5	柏駅西口	東口移動	徒歩 0.82			到着		2.44
		min	2		5	4		2	15				28	
		¥	71		178	160+142		71	534				1,156	
	D	km	徒歩 0.12	松ヶ崎	待ち時間	バス 1.5	柏駅西口	徒歩 0.68			到着		2.30	
		min	2		5	4		13				24		
		¥	71		178	160+142		463				1,014		
	E	km	徒歩 0.12	松ヶ崎	待ち時間	バス 1.5	柏駅西口	東口移動	徒歩 0.35			到着		1.97
		min	2		5	4		2	7				20	
		¥	71		178	160+142		71	249				871	

小学校名	人口 (人)	自家用車					公共交通				
		総費用(円)					総費用(円)				
		総費用×人口(千円)					総費用×人口(千円)				
		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
田中北小学校	2,130	427	813	855	784	873	1,993	1,878	2,435	2,292	2,150
		910	1,732	1,821	1,670	1,859	4,245	4,000	5,187	4,882	4,580
西原小学校	11,907	691	864	813	733	834	1,900	2,442	2,287	2,216	2,002
		8,228	10,288	9,680	8,728	9,930	22,623	29,077	27,231	26,386	23,838
松葉第一小学校	8,828	610	468	415	335	436	819	1,006	1,812	1,741	1,528
		5,385	4,132	3,664	2,957	3,849	7,230	8,881	15,996	15,370	13,489
松葉第二小学校	9,162	519	275	415	335	436	1,014	1,116	1,922	1,851	1,637
		4,755	2,520	3,802	3,069	3,995	9,290	10,225	17,609	16,959	14,998
十余二小学校	9,843	285	824	763	691	784	928	1,976	1,740	1,063	1,455
		2,805	8,111	7,510	6,802	7,717	9,134	19,450	17,127	10,463	14,322
風早南部小学校	5,294	1,566	966	915	741	720	3,086	2,438	2,130	2,130	1,845
		8,290	5,114	4,844	3,923	3,812	16,337	12,907	11,276	11,276	9,767
風早北部小学校	8,411	864	651	428	619	415	2,397	1,748	1,440	1,440	1,156
		7,267	5,476	3,600	5,206	3,491	20,161	14,702	12,112	12,112	9,723

小学校名	人口 (人)	自家用車					公共交通				
		総費用(円)					総費用(円)				
		総費用×人口(千円)					総費用×人口(千円)				
		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
手賀西小学校	2,135	1,251	956	813	1,008	805	3,061	2,412	2,104	2,104	1,820
		2,671	2,041	1,736	2,152	1,719	6,535	5,150	4,492	4,492	3,886
手賀東小学校	1,790	1,596	864	1,160	1,364	1,148	3,588	2,940	2,632	2,632	2,347
		2,857	1,547	2,076	2,442	2,055	6,423	5,263	4,711	4,711	4,201
高柳小学校	6,302	1,739	1,139	1,097	924	906	2,570	1,922	1,685	1,614	1,400
		10,959	7,178	6,913	5,823	5,710	16,196	12,112	10,619	10,171	8,823
大津ヶ丘第一小学校	8,315	1,332	732	682	517	407	2,600	1,952	1,644	1,644	1,359
		11,076	6,087	5,671	4,299	3,384	21,619	16,231	13,670	13,670	11,300
大津ヶ丘第二小学校	7,130	1,322	722	670	500	479	2,494	1,845	1,537	1,537	1,252
		9,426	5,148	4,777	3,565	3,415	17,782	13,155	10,959	10,959	8,927
高柳西小学校	7,676	1,942	1,118	1,220	1,038	1,059	3,291	2,458	2,221	2,150	1,936
		14,907	8,582	9,365	7,968	8,129	25,262	18,868	17,048	16,503	14,861
合計	377,041	370,286	234,586	192,309	177,744	177,566	832,102	628,876	594,485	551,327	490,608
100万人が来館した場合	1,000,000	982,083	622,176	510,047	471,418	470,945	2,206,926	1,667,925	1,576,711	1,462,247	1,301,206

■ (例) 柏第四小学校からの移動時間・距離



■事業費詳細内訳

(百万円)

項目	A	B	C	D	E
用地取得費	1,242	1,242	0	0	3,300
建設費	3,322	3,322	953	3,322	1,638
建築工事費	3,312	3,312	953	3,312	-
駐車場建築工事費	10	10	-	10	1200
駐車場費	-	-	-	-	438
設備費	1,745	1,745	1,517	1,745	1,745
家具調度費	240	240	69	240	240
図書購入費	1,425	1,425	1,425	1,425	1,425
システム整備費	80	80	23	80	80
機能充足費	-	-	3,316	-	-
建設費等	-	-	2,588	-	-
用地充足費	-	-	728	-	-
その他	0	0	117	1,883	0
体育館移設工事費	-	-	-	1830	-
解体撤去費	-	-	69	53	-
図書等移転作業費	-	-	48	-	-
整備費用合計	6,309	6,309	5,903	6,950	6,683
維持管理費用(20年分)	14,000	14,000	14,000	14,000	12,400
事業費合計	20,309	20,309	19,903	20,950	19,083

■財源詳細内訳

(百万円)

項目	A	B	C	D	E
交付金	0	0	0	(※2) 610	(※1) 825
用地取得費	1,242	1,242	0	0	2,475
建設費	3,322	3,322	953	3,322	1,638
機能充足費	0	0	3,088	0	0
その他	0	0	69	1,273	0
(起債対象額)	4,564	4,564	4,110	4,595	4,113
起債額(対象額の75%)	3,423	3,423	3,083	3,446	3,085
(毎年償還分)	171	171	154	172	154
設備費	1,745	1,745	1,517	1,745	1,745
機能充足費	0	0	(※3) 228	0	0
その他	0	0	(※3) 48	0	0
起債裏負担(起債額の1/3)	1,141	1,141	1,028	1,149	1,028
一般財源合計	2,886	2,886	2,820	2,894	2,773
維持管理費用	14,000	14,000	14,000	14,000	12,400
1年あたり	700	700	700	700	620
合計	20,309	20,309	19,903	20,950	19,083

(※1) まちづくり交付金の交付対象の「地域交流センター」該当を5,000㎡と仮定し、当該保留床取得費(2,062百万円)の4割を交付として想定。

(※2) 体育館移設にかかる交付金として、体育館移設工事費1,830百万円の1/3を想定。

(※3) 家具調度・システム費228百万円及び図書移転作業費48百万円は一般財源にて調達

■維持管理費用詳細根拠

(1) 単館図書館の場合

	概要			人件費(千円)	図書館費+人件費(千円)	(図書館費+人件費)/面積(千円/㎡)	備考
	延床面積(㎡)	奉仕人口(千人)	分館数(()内は分室数)				
岡崎市	7,985	372	2(9)	147,867	699,357	87.58	2009年秋開館。管理運営計画(2008年策定)から抜粋
枚方市	9,302	404	8(11)	288,600	607,935	65.36	「日本の図書館」より2005年予算参照。但し、職員人件費は含まれていないため、7,800千円×37人として想定。
千葉市	10,275	895	12	327,600	1,095,026	106.57	「日本の図書館」より2005年予算参照。但し、職員人件費は含まれていないため、7,800千円×42人として想定。
				3館平均		86.50	86.50千円×8,000㎡=692.00百万円⇒約700百万円

(2) 複合施設の場合

	概要			人件費(千円)	図書館費+人件費(千円)	(図書館費+人件費)/面積(千円/㎡)	備考
	延床面積(㎡)	奉仕人口(千人)	分館数(()内は分室数)				
川口市	8,800	502	5	-	707,000	80.34	
豊田市	12,567	392	0(29)	202,800	924,829	73.59	「日本の図書館」より2005年予算参照。但し、職員人件費は含まれていないため、7,800千円×26人として想定。
				2館平均		76.97	76.97千円×8,000㎡=615.76百万円⇒約620百万円